

# 広濟寺寺報

発行 浄土真宗本願寺派 福田山 廣濟寺

〒 933-0344 富山県高岡市笹川98 TEL(FAX) 0766-31-0096

E-Mail info@kosaiji.net

ホームページ

http://kosaiji.net/

## 法座のご案内

三月二十日(火) 午後二時より  
春季彼岸会



## 今号の法語



不正のみ  
世を乱すのではない  
正義に執われすぎると  
争いが起こる

内容  
・初参式にお参りください  
・飯館村の方々とお餅つき♪  
・仏事のQ&A くお坊さんになるにはく  
・広濟寺仏教婦人の集いが開かれます

ニュースを聞いてみると、「またか」と思うことがよくあります。それは国外・国内においてはもちろん、「不正」なことによるニュースは、私たちの身のまわりにも少なくはありません。その時、私はこう思います。「何でこんなことをするかな」「自分のことしか考えてないな」「こっちはちゃんとやっているのに」・・・などなどです。「不正」なものに対して、自らの「正義」をもつて断ずるのです。でもこの「正義」というのも難しいもの。「正義」とは一体何なのでしょう？また誰が決めたのでしょうか？

「正義」という言葉は、いつの間にか自らを盲目にさせ、相手の側に立つこと、相手を思いやることを忘れさせます。少なくとも「正義」を振り回すことだけは避けたいものですね。

# 初参式しよさんにお参りください

五月十二日(日)広濟寺において初参式を行います。

初参式とは、赤ちゃんの誕生をよろこび、新たないのちの出發に当たって、その心の支えとなつてくださる仏さまにお参りさせていただくという儀式です。

また初参式は、赤ちゃんにとつて人生の始まりの仏縁ですが、同時に親にとつても、



親として生きる出発点であり、我が子によつて与えられた尊い仏縁です。

どうぞご家族そろつてお参りください。

当日は短いお勤め・法話を含めた儀式の後、記念品・お食事などをご用意させていただきました。親にとつても赤ちゃんにとつても思い出に残るお参りになるよう、楽しいことも企画中です。

門徒問わずどなたでもご参加ください。お申込み・お問い合わせはお寺まで。

年末に福島へ

## 飯館村いいたたの方々とお餅つき♪

昨年十二月末、福島県へ行つて来ました。一昨年に引き続き、再び飯館村の方々とお餅をついてきました。

冬の福島県はとても寒く、富山とは違い肌を刺すような寒さでした。

訪れた吉倉宿舎よしかぶ、松川第二仮設では、皆でたくさんのお餅をつき、ぜんざいやお正月用の鏡餅などを作りました。今回訪れてまず感じたのが、子どもたちの数が少なくなつ



ているという現実。子どもたちの姿こそ住民の方々に元気を与えていたことを思うと複雑な思いになりました。

福島で起こっていることが次第に忘れられつつある現在、支援にも色んな形が考えられます。福島の方々のことを少しでも伝え合い話し合っていくことも大きな支援だと思えます。伝えましょう。福島で一日一日を今日も懸命に戦っている方々がいることを。

# 仙事の疑問 Q & A

## 質問 お坊さんって

### どうすればなれるの？

今回はご要望にお答えして(？)、お坊さんになる方法を紹介させていただきます。

お坊さんになることを得度とくどといいますが、元の「得度」とは、この迷いの世界の此岸がんから悟りの世界の彼岸ひがんへ渡ることを意味していたそうです。

浄土真宗本願寺派では、お坊さんになる(得度式を受式する)ためには、得度習礼しゅらいというものに行かなくてははいけません。※この得度習礼を受けるための試験もあります。

習礼を行う場所は、京都市桂にある西山別院。阪急電車桂駅かきつちの目と鼻の先にあります。一六一七年に西本願寺は火災に遭いましたが、翌年



に仮本堂(阿弥陀堂)を再建。その後現在の西本願寺阿弥陀堂完成(一七六〇年)にあたり、西山別院へと移築されたものが、現在の西山別院本堂(写真左)です。



さて、得度習礼の日程は全十一日間。期間は宗派によっても異なりますが、この短期間に僧侶として必要な教養・行儀などについて学びます。

朝は五時半まで起床。清掃・勤行の後、八時に朝食。日中は講義で、十六時半から再び勤行。十八時に夕食を済ませ、課題テスト。十九時半からもう一度勤行。その後は入浴・自習となるのですが、翌日の勤行当番班はその時間に皆で事前練習。消灯は二十三時なのですがその頃にはもうクタクタ。ここぞとばかりに眠って次の朝に備える日々でした。最終日前日に西本願寺にて

得度式を受式し、最終日は早朝から再び本願寺へお礼参拝。親鸞聖人のお墓がある大谷本おおたにほん廟びょうにも参拝し、全日程が修了します。

本願寺派の僧侶は全てこの過程を経てきています。この十一日間を修了し、初めてお坊さんとしてのスタートを切るわけです。もちろんそれからまた各々に更なる学びの道を歩んでいくわけですが、僧侶としての原点がこの得度習礼なのです。

どうです？興味がでてきませんか？お坊さんには誰でもなれます。仏道は誰にでも開かれています。ただしお坊さんになるのはあくまでスタートライン。お坊さんになつてからどう生きていくかが大切なことなのでしょう。

さあ、あなたもお坊さん一緒に始めてみませんか？

昨年の様子



# 仏教婦人の集い

四月二十五日(木)、広濟寺

仏教婦人の集いが開かれます。受付開始は午前十時三十分から。会費は昼食のお弁当代を含め一三〇〇円となっております。

昨年はオカリナ演奏を鑑賞しましたが、今年も楽しいことを企画中です。

是非お参りくださいね。

# お知らせ

二〇一三年

## 春季彼岸会

三月二十日(火)

午後二時より

法話 当寺 若院

## 五位組 歴史講座

三月十七日(日)

午後七時より

場所 石堤 長光寺

## 正信偈を読む会

毎月第三土曜日

午後四時より

※三月は休会します

## 広濟寺仏教婦人会

毎月第四土曜日

午後七時半より

※四月は休会します

## 広濟寺仏教婦人の集い

四月二十五日(木)

受付 午前十時半より

会費 一三〇〇円

(昼食込み)

御講師

関野組 長樂寺

篠島 善敏 師

## 初参式

五月十二日(土)

受付 午前十時半より

対象 三歳くらいまで

※詳細はお寺までご連絡ください

# 編集後記

二月末、住職の孫(若院の甥)がお坊さんになって本願寺より帰って来ました。

ピカピカツルツルのまばゆいばかりの坊主頭を見ていると、自分がお坊さんにならせて頂いたときのこと懐かしく思い出されます。

長時間の正座。空腹の毎日。厳しい指導僧侶の先生方。遊びたい盛りの若者にとつて、そこは世間とはかけ離れた別世界のようでした。

夕暮れ時の本願寺において静寂に包まれたなかで執り行われた得度式(お坊さんになる儀式)。これから本当に坊主として生きることになるんだという実感が込み上げてきたのを覚えていきます。

また門徒さんの家々にもお参りさせていただくことがあると思います。どうかあたたかくお育てください。



広濟寺にお坊さんが増えました